

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

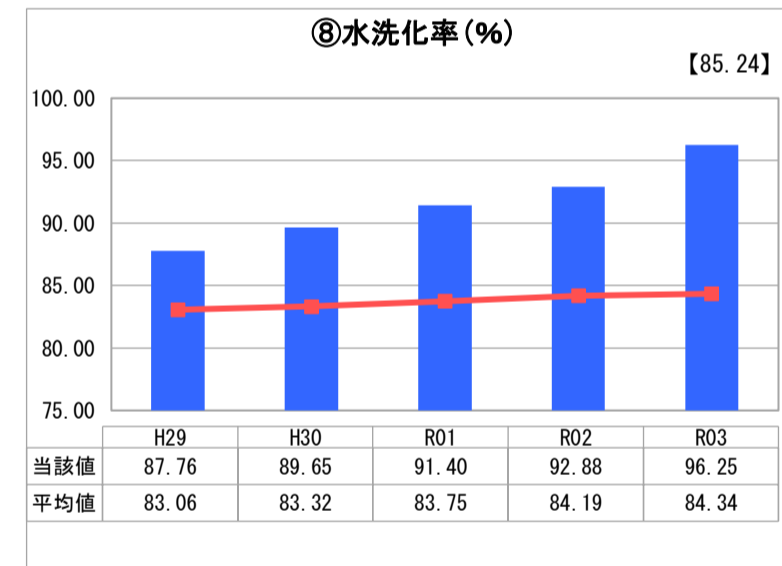
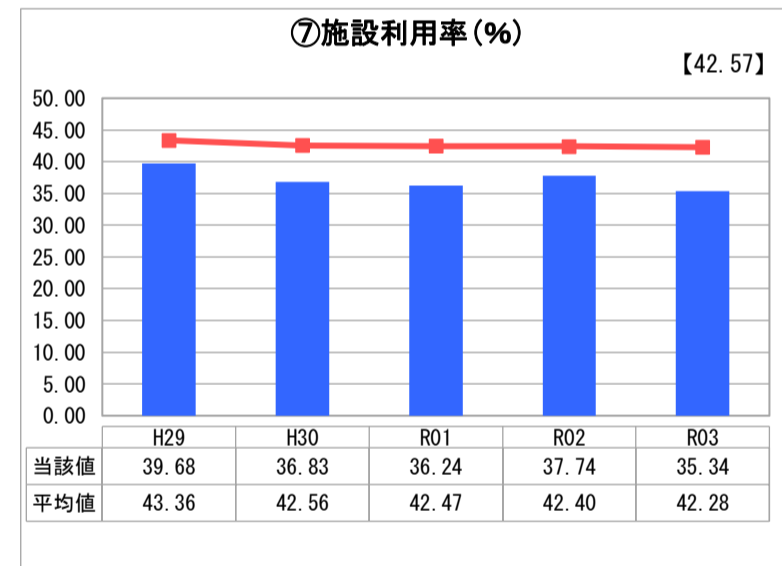
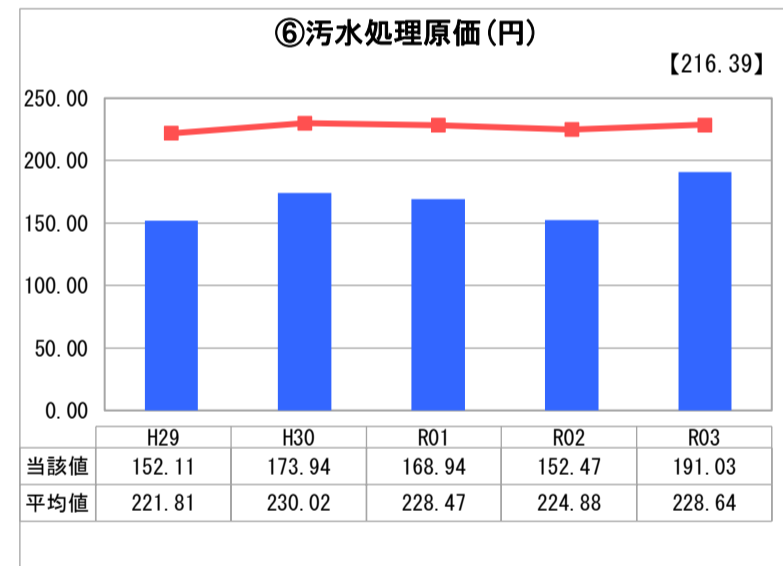
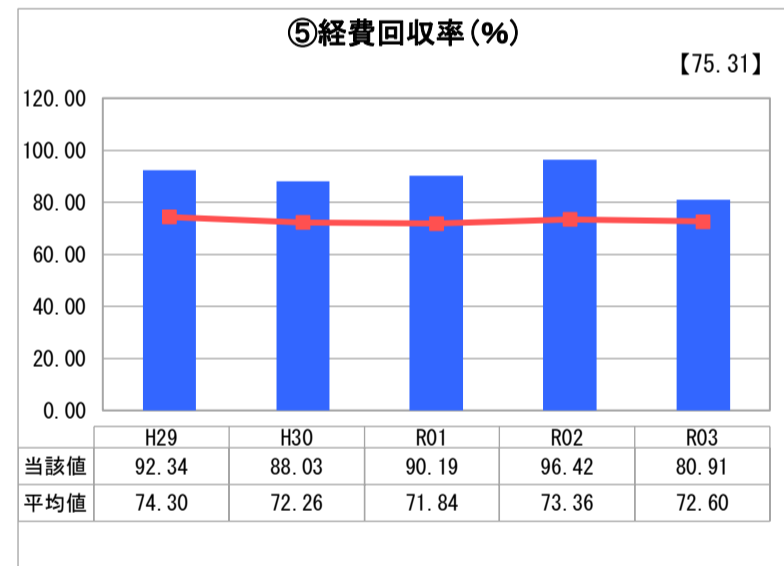
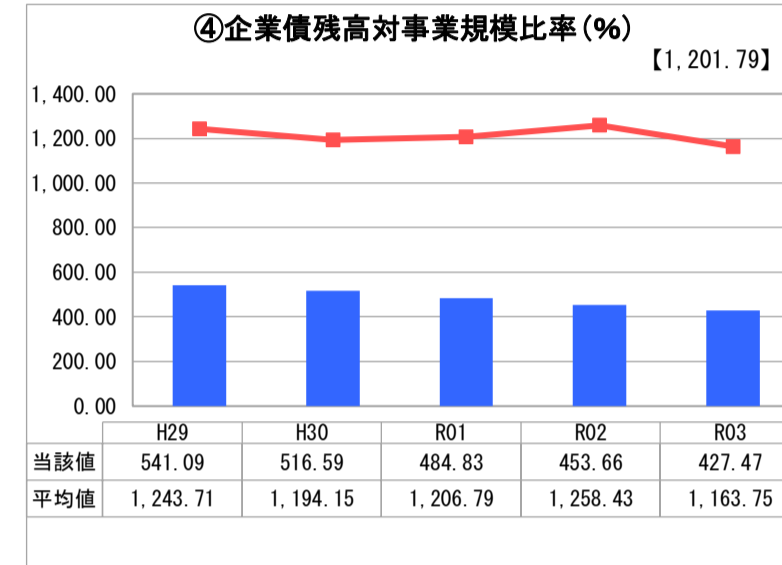
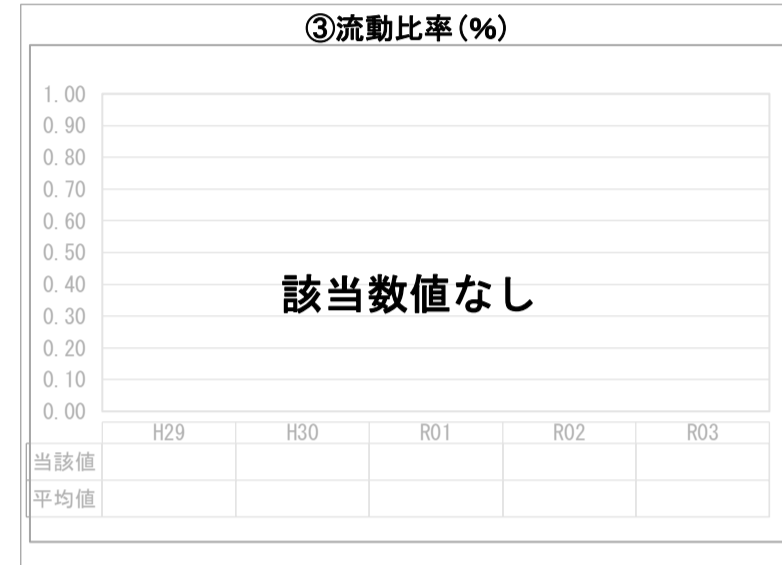
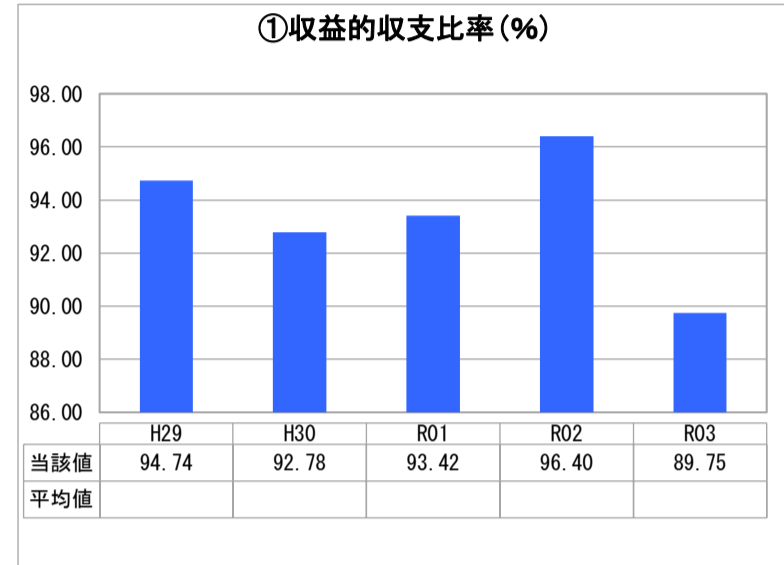
鳥取県 若桜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	81.67	100.00	3,780

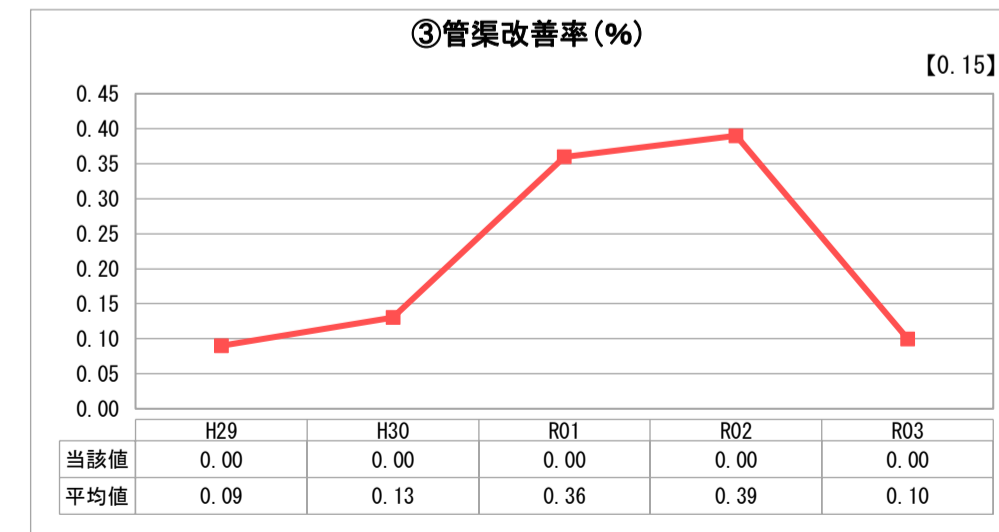
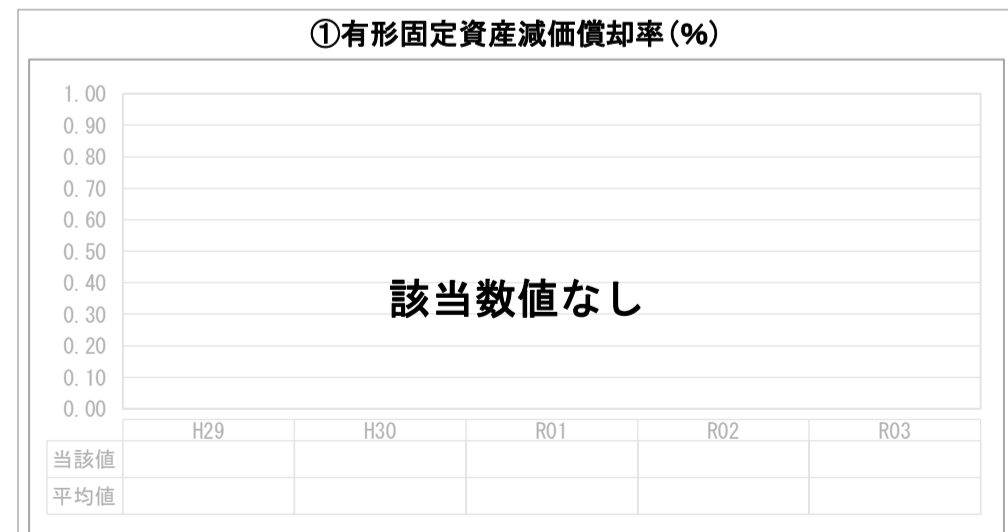
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,941	199.18	14.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,371	1.26	1,881.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

H28年度において経費の入力区分を見直し、計上数値の適正化をおこなったことから、収益的収支比率と経費回収率が急激に上昇し、単年度の収支が改善された。今後もさらには収支比率が比較的高い数値になることが予想される。

また、企業債残高対事業規模比率、汚水処理原価も、H28年度の計上数値の適正化に伴い急激に減少し改善された。

しかし、平成27年度から平成30年度にかけて長寿命化計画に基づく施設更新・改修を実施しており、今後もストックマネジメント計画に基づく施設の老朽化対策のための整備費用が必要となる。

一方では、人口減少による使用料収入の減額等が予想されることから、適正な使用料収入確保及び汚水処理費の削減等による一層の経営改善が必要と考えられる。現在、処理区や農業集落排水施設との統合を検討しており、経営の健全化を進めている。

### 2. 老朽化の状況について

平成27年度から平成30年度にかけて長寿命化計画に基づく施設の更新・改修をおこなったが、引き続き施設老朽化対策としてストックマネジメント計画を策定中であり、今後もストックマネジメント計画に基づき施設の更新・改修を図っていく。

## 全体総括

人口減少に伴い収入が減少傾向になることが予想されるが、近年は長寿命化計画に基づく施設更新・改修費用が増加しており、今後も引き続きストックマネジメント計画に基づく施設の老朽化対策費用が必要になる。

このため、H28年度の経費の入力区分見直し・計上数値の適正化に伴う収支改善に安心することなく、収入確保及び汚水処理費の削減等による一層の経営改善が必要と考えられる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。